「種子島コシヒカリ」品質良好で集出荷開始

ＪＡ種子屋久ライスセンターで７月中旬、「種子島コシヒカリ」の集出荷が始まりました。

今年は梅雨入りが早く、日照不足が心配されましたが、出穂後は天候に恵まれ平年以上の収量が見込まれます。

６月中旬には、一部地域でドローン（小型無人飛行機）を使用した農薬散布も実施。省力化にも寄与しました。

今年産は約２００ヘクタールで作付され出荷量は７８０トンを見込んでいます。

パッション販売会実施 華やかな香りで来場客も関心

鹿児島市の農産物直売所「おいどん市場与次郎館」と「たわわタウン谷山」の２カ所で７月中旬、屋久島産パッションフルーツの販売会を開きました。

販売会では、ＪＡ職員が特徴やおすすめの食べ方を説明し、来場者へ屋久島パッションフルーツをアピールしました。

来場者は、果肉や皮から出る華やかな香りに「いい香りがする」「甘そうだ」と関心を高めていました。

㈱福岡ソノリク来島 生産者へ義援金贈呈

園田社長㊧から義援金を受け取る梶原会長

ＪＡ種子屋久の安納芋出荷に鹿児島くみあい食品を通じて協力している㈱福岡ソノリクは７月上旬、ＪＡのサツマイモ生産者に義援金を贈呈しました。

県内で発生しているサツマイモ基腐病に苦しむ農家を支援したいと企画し、同社の園田壽俊社長が当ＪＡを訪れ、ＪＡ野菜部会協議会の梶原敏夫会長へ義援金を手渡しました。

梶原会長は「支援をいただきありがたい。種子島のサツマイモを安心して食べてもらうためにも、防除を徹底していきたい」と感謝を述べました。

下西小学校 落花生植え付け体験授業

ＪＡ種子屋久は７月15日、西之表市立下西小学校で落花生の植え付け体験授業に参加しました。１・２年生35人が、営農指導員の指導を受け植え付けしました。

授業では指導員が、生育過程や植え付け方法について説明。児童らは「どんな花を咲かせるのか」「早くたべたい」と興味を示していました。

教師の峯崎理恵先生は「種子島には、サツマイモ以外にも多くの特産品があることを知ってほしい」と話しました。

牡牛座 4/20 ～ 5/20

【全体運】ピンチに助けてくれる人が現れて、事なきを得ます。「まずい」と思ったときは早めに相談をしましょう
【健康運】鍛える気持ちでスポーツにトライ！
【幸運を呼ぶ食べ物】キュウリ